

# おいらく山岳会小史

昭和

33年7月 5日 日本橋七色堂において

「おいらく山岳会」発会式。

7月 おいらく山岳会通信（現山行手帖）第1号創刊。

9月 21日 第1回山行 丹沢葛葉川

遡行。

34年8月 役員決定 代表小栗善一（初代

会長）鈴木勝太郎・山本一郎他4

名。

9月 OMC会旗決定（現行と同じ）。

35年3月 会員数119名。

8月 第10号より誌名を「おいらく山

岳会月報」とし、月刊となる。

9月 文化放送「ひるの話題」で「お

いらく山岳会」について放送

（司会秋山ちえ子）ジャーナリ

ズムに初紹介。

36年4月 小栗会長他2名 フジテレビに

出演（テレビ初出演）。

9月 ペナント（小旗）制定。

37年4月 加宮貴一第2代会長に選任。

39年4月 会費月1000円を年2回徴収と

する。

41年8月 会費月1500円に改定。

43年5月 事務所を渋谷区鈴木勝太郎宅に

移転。

44年7月 山行1000回記念集中山行を

大岳山にて。参加123名。

46年4月 誌名を「山行手帖」とし、表紙

もつき機関誌として体裁整う。

47年4月 秋山ちえ子氏テレビでOMCを

紹介。会員爆発的増加。

49年4月 会員1000名を越す。一部手

渡しの会報が全会員郵送となる。

50年5月 会報広告第1号（津村順天堂）

52年4月 会費月額2000円に改定。

54年10月 会報がタイプ印刷から活版印刷

24頁建てに。二井田印刷所から

杜陵印刷へ。

48年5月 「テレホンサービス」開始。

49年4月 NHKカメラレポートで「おいらく山岳会」を放送。問い合わせ

せ殺到。

「山行手帖」第3種郵便物認可

を取得。

50年5月 料金別納による発送の簡易化。

51年12月 会費月額3000円、入会金1千

円に改定。

52年4月 終身幹事待遇の参事制を設け、

26氏承認。

53年5月 会費1年前納とする。

54年12月 会員数2000名を越す。

55年4月 山行にD級を設定。

56年9月 家族会員制（主として配偶者）

を制定。

57年9月 会員数2400名。

55年4月 事務所を神田須田町に移転。同

時に事務員を鈴木勝太郎・保谷繁松両幹事に委嘱。

5月 副会長制を設け二井田恒雄就任。

6月 会報発送業務を業者に委託。

57年9月 第1回スケッチ絵画展開催。

58年4月 年会費4800円、家族会員2

400円に改定。

6月 「事故対策部規則」「遭難救助班

規則」を制定。

59年5月 保谷繁松副会長に選任。

60年2月 事務所を渋谷区松濤に移転。

4月 小栗善一に「創始者」の称号を

贈る。

61年1月 「救難基金規則」を制定。

5月 米谷勇第3代会長に選任。副会

長複数制を実施し、5氏就任

高橋功・佐藤節・一ノ瀬末次・

清水耐治・宮下庄三郎

専任事務員を田嶋ユリ幹事に委

嘱。

6月 加宮貴一前会長逝去。

63年4月 高橋功第4代会長に選任。副会

長一ノ瀬末次・清水耐治・岩永

光輝。

平成

元年3月

昭和63年度決算報告に救難基金科目が設けられる。

7月 「山行手帖30周年記念号」発刊

30周年記念行事として「おいら

く文庫」開設。

会員数3000名を越す。

8月 創立以来の陰の功労者鈴木勝太

郎逝去。

2年4月 会長・副会長全員再選。

11月 房ノ大山で遭難事故発生。事故

者は2日後に救出。

11月 会則等検討委員会発足。

3年6月 房ノ大山遭難事故報告を山行手

帖別冊で発表。山行中の人員確

認など事故対策方針強化。

7月 米谷勇前会長逝去。

4年1月 「役員選出規則」を制定。

3月 第1回集中山行大岳山にて実施

会長・副会長全員再選。

4月 「事務所運営規則」ほか制定。

5年4月 会則大幅改訂、各部規則を制定

入会金3千円、会費6千円、家

族会員3千円に改定。

事務所職員急病のため中野佳子

幹事他7名の幹事で代行。

6月 おいらくまつり実行委員会発足。

夏山ベストコース始まる。

7月 事務所職員、林直子会員に委嘱。

8月 唐松岳八方尾根で事故発生。事

故者はヘリコプターで救出。

6年6月 清水耐治第5代会長に選任。副

会長丸山信良・土方達大・吉田裕

8月 文化部創設に伴い規則制定。

7年1月 創始者小栗善一逝去。

4月 年会費7800円、家族会員3

900円に改定。

この頃より主婦と生活社・朝日

新聞・ダイヤモンド社などマス

コミの取材が多くなる。

8年6月 清水耐治会長再選。副会長丸山

信良・吉田裕・笹本元一。

9年6月 会則改訂、例会は8月12月をの

ぞき年10回とする。

10年6月 佐藤彦一第6代会長に選任。副

会長川島慶子・高橋弘道・丸山

信良。

庶務部と集会部を合わせ総務部

とする。

